

## 暮らしに役立つ

西広島

## 医療情報

75

C型肝炎は、C型肝炎ウイルスに感染することによって起こり、日本全国で150〜200万人、持続感染者がいると推定されています。C型肝炎ウイルスを含んだ血液が体内に入ると感染する可能性があり、感染の原因として、C型肝炎ウイルスの検査体制ができる

より前の輸血、血液製剤や注射器、注射針の共用、ピアスの穴あけ、入れ墨などが挙げられます。

感染した場合には、70〜80%の確率でウイルスが肝臓の細胞の中に棲みついてしまい、持続感染の状態となります。感染

してもあまり症状のない場合も多く、放置しておくこと50歳を過ぎるころには肝硬変にまで進行したり、肝臓ガンができる可能性が高くなります。

## C型肝炎の検査を受けましょう

C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査をすれば分りますので、一度は血液検査を受けましょう。現在肝炎ウイルス

持続感染者(キャリア)を早期に発見し、適切な治療に結びつけることを目的に、広島県肝炎ウイルス検査事

業が実施されており、これまで肝炎ウイルス検査を受けたことがなく、今後受ける機会もない方は無料検査が受けられます。お近くにも検査を受けることができる診療所や病院がありますので、保健所に問い合わせるか広島県のホームページをご覧ください。

検査の結果C型肝炎ウ

イルスのキャリアであることが判明した場合には、かかりつけ医に相談し、一度肝

臓専門医の診察を受けて下さい。治療法やその副作用について説明してもらい、必要であれば早めに治療を始めましょう。ウイルスの体内からの排除を目的とす

るインターフェロン治療(原因治療)を行えば、C型肝炎患者全体の約70%に効果が得られ、肝炎は治癒し肝臓ガンができる確率は低下します。

今年4月から、インターフェロン治療を受ける方を対象に医療費助成制度が始まりました。世帯所得に応じて自己負担額(月額)の上限が決まり、

それを超えた額が助成されます。インターフェロン治療を希望される方は、かかりつけ医・専門医に相談の上、是非この機会に治療を受けて下さい。

(廿日市市佐伯地区医師会 網本内科消化器科 院 網本達也)

※休日受付医院は8面「今週のお知らせ」コーナーに掲載。